

令和8年3月9日

保護者様

令和7年度学校評価について（報告）

船橋市立小栗原小学校  
校長 青山 ひとみ

早春の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、過日実施いたしました学校評価につきまして、集計が終わりましたので、ご報告いたします。皆様からいただきましたご意見につきましては全て、全教職員にて拝読いたしました。内容について共通理解をしながら、次年度の教育活動にいかせる点については、反映していきたいと思っております。残念ながら全てのご意見を反映することはできかねますのでご理解をお願いします。また、本報告書における個々のご意見に対するご返答はいたしかねますのでご理解をお願いいたします。

結びになりますが、今年度も本校の教育活動へご理解とご協力をいただいておりますことにお礼を申し上げますとともに、今後ともご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

1 保護者アンケートの結果

(1) 集計結果

保護者アンケート（数字は% ※小数第一位を四捨五入）		保護者				
			4	3	2	1
1	お子様は学校へ行くのを楽しみにしていると思いますか。	<b>R7</b>	<b>46</b>	<b>40</b>	<b>12</b>	<b>2</b>
		R6	47	39	13	1
2	お子様は学習内容をよく理解していると思いますか。	<b>R7</b>	<b>33</b>	<b>53</b>	<b>13</b>	<b>1</b>
		R6	35	53	11	1
3	お子様は決まりを守って落ち着いた生活を送っていると思いますか。	<b>R7</b>	<b>47</b>	<b>44</b>	<b>8</b>	<b>1</b>
		R6	49	42	8	1
4	お子様は「英語科」の学習に意欲的に参加していると思いますか。	<b>R7</b>	<b>41</b>	<b>41</b>	<b>16</b>	<b>2</b>
		R6	40	44	15	1
5	学校は児童の個性を理解しいじめのない集団づくりに努めていると思いますか。	<b>R7</b>	<b>37</b>	<b>53</b>	<b>9</b>	<b>1</b>
		R6	34	51	13	2
6	学校（スクールカウンセラーを含む）は、児童や保護者にとって悩みや困ったことを相談しやすいと思いますか。	<b>R7</b>	<b>26</b>	<b>57</b>	<b>16</b>	<b>1</b>
		R6	27	50	20	3
7	学校は授業参観、学級懇談会、面談等の機会を適切に設けていると思いますか。	<b>R7</b>	<b>60</b>	<b>37</b>	<b>3</b>	<b>0</b>
		R6	60	35	4	1
8	学校は施設・設備の整備するなど事故防止や児童の健康・安全に努めていると思いますか。	<b>R7</b>	<b>44</b>	<b>49</b>	<b>7</b>	<b>0</b>
		R6	34	55	10	1
9	学校は、給食を通して適切な食育を行っていると思いますか。	<b>R7</b>	<b>76</b>	<b>22</b>	<b>1</b>	<b>1</b>
		R6	76	20	3	1
10	学校は学校だよりや学年だより・ホームページ・配信メール等で、家庭への連絡をわかりやすく行っていると思いますか。	<b>R7</b>	<b>59</b>	<b>35</b>	<b>5</b>	<b>1</b>
		R6	55	37	7	1
11	学校は保護者や地域の人たちとの連携・協力していると思いますか。	<b>R7</b>	<b>45</b>	<b>49</b>	<b>5</b>	<b>1</b>
		R6	42	47	10	1

4とてもそう思う 3少しそう思う 2あまりそう思わない 1全くそう思わない

## (2) 保護者アンケートに関する考察等

4と3を肯定的評価、2と1を否定的評価として、その割合を前年度（令和6年度）と比較したところ、2項目において否定的評価の割合が増加していることがわかりました。質問項目2「お子様は学習内容をよく理解していると思いますか。」、質問項目4「お子様は『英語科』の学習に意欲的に参加していると思いますか。」がともに約2%増加していました。

学習内容の定着は学校教育の根幹であると考えています。児童の実態を把握し、児童が意欲的に参加できるわかる授業の実践を教職員一同心がけ、校内研究（授業見学、討議、講師による指導等を通じて職員の授業力を向上）や研修を充実させ、児童の学びの定着を図っていききたいと考えています。

また、今年度より実施した児童アンケートでの「学習している内容がわかりますか」「英語の授業に積極的に参加していますか」の項目では、9割以上の児童が肯定的評価をしていることから、児童が「わかる」「わかった」という前向きな気持ちを大切にしながら、学習指導していききたいと思います。

また、4項目（質問項目5・6・8・11）については、肯定的評価の割合が5%程度増加していることがわかりました。肯定的評価が増えた項目についても、学校施設設備の老朽化や児童や保護者の皆様が悩みや困ったことを相談しやすい環境作りについては、保護者の皆様からご意見をいただきました。施設設備の修繕依頼や新規購入希望、相談機関・窓口等の情報発信などをして、さらに改善していかないといけないと考えております。

質問項目1の「お子様は学校へ行くのを楽しみにしていると思いますか」では昨年度とほぼ同様の結果となりました。児童アンケートの「学校は楽しいですか」では89.6%、「友達と仲良く過ごすことができますか」では95.2%の児童が肯定的評価をしており、さらに多くの児童が「楽しく学校に通う」ために、授業や学校行事等の工夫し、児童が安心して過ごせるような環境作りに取り組んでまいりたいと考えています。

## 2 地域アンケートの結果

本校では、地域アンケートとして、学校運営協議会委員の皆様と各自治体にアンケートを依頼しています。校内の内容が多いので、答えにくい部分もありますが、町中で見ると子供たちの様子と保護者の見る子供たちの様子にどのような違いがあるかを把握するために、保護者アンケートとほぼ同じ内容としています。

今年度は、ほぼ全ての項目において肯定的な評価をいただくことができました。しかし、学校施設・設備等の環境や悩みや困ったことの相談体制につきましてはご意見もいただいておりますので、さらに改善していききたいと考えております。

また、学校評価の内容とともに児童の挨拶について多くのご意見をいただきました。地域でも積極的に挨拶できる児童もいるようですが、なかなか挨拶ができない児童もいるようです。スクールガードの方々など登下校を見守っていただいている地域の方々には、できるだけ挨拶ができるよう学校で声かけをしていききたいと考えています。ご家庭でも一緒に地域の方に挨拶をしていただくなどご協力をお願いします。

### 3 学校評価委員会による学校関係者評価

※学校評価委員は、学校運営協議会委員が兼ねる。

※第3回学校運営協議会（2月20日実施）において、アンケート結果と考察を提示し、ご意見をいただくことをもって、学校関係者評価とした。

- ・学校運営協議会で様々な行事や授業を参観すると子供たちが元気に楽しく過ごしていることがわかり、安心して小栗原小学校を見ることができた。
- ・学校評価の8の項目については、施設設備の問題はあると思うが、学校がそのことに真摯に対応していることがわかるので、肯定的なものとなったのではないかと。
- ・学校運営協議会で見るいろいろな行事や授業から、小栗原小学校は素晴らしい学校だと思っていたが、実際に保護者の方々がどう思っているのか興味があった。保護者の方々から肯定的意見が多いことは素晴らしいと思う。子供のアンケートからも小栗原小学校は多くの保護者や子供に肯定されている学校ではないかと思う。通常の一般的なアンケートではこのようなよい結果は出ないと思う。
- ・小学校時代の過ごし方はとても大切だが、小栗原小学校は安心して見ることができると思う。
- ・小栗原小学校は地域の方々の協力が素晴らしい。学校部活動の地域移行についても地域の協力を得られているのでうまくいっているのではないかと思う。
- ・子供たちのアンケートで「友達と仲良く過ごすことができている」「学校が楽しい」と回答した児童の割合がとても多いのは素晴らしいことである。保護者と子供の意識の差はあるかもしれないが、とてもうれしい結果である。
- ・悩みや相談をすることについて、数値が少し低いことが気になった。スクールカウンセラーについては、相談したい人の数が学校にカウンセラーがいる時間と間に合わないのかもしれない。また、先生方が気軽に相談を受ける時間が取れないのかもしれない。いろいろな面でもう少し解消されればよりよい。
- ・子供たちが学校を楽しんでいるのは、先生の雰囲気が良いということもあると思う。先生が怖いとか厳しいとかは、楽しい学校にとってマイナスポイントとなると思う。先生が優しいことは大切なことだし、先生方の関係もうまくいっているのも、それが子供たちにもきっと伝わっていると思う。
- ・英語についてまだ意識が低いのはなんで英語を学習するのかなと疑問をもっている部分もあるのではと思った。
- ・給食については、給食がとてもおいしいので、子供から聞いて保護者も好評なのはなのか。
- ・スクールカウンセラーについては分析が必要である。子供や親が行く機会がないのか。行って相談したいのだけれども、相談する時間がなくて予約がとれないのか。
- ・学校は全体的に施設が古い。随時修繕が必要だと思う。もし直すことが可能な場所があれば学校からの要請があれば地域や保護者のボランティアで直すことも可能である。
- ・大雨が降った際の校庭の水没については学校からも要望していると思うが早急に直してほしい。
- ・ICTの使用については、学級間であまり差がないようにしていくべきである。
- ・より積極的にタブレット端末やインターネットを使っていき、紙がいらぬぐらいの環境にしていくことも考えていく必要がある。
- ・体育館への通路の支柱の老朽化については至急修繕が必要だと考えるため、この会全体の要望として船橋市教育委員会に提出したいと思う。
- ・子供たちの力を使って、子供たちの意見をどんどん取り入れて反映させ、小栗原小学校にいかしていくような取り組みをどんどんやっていってもよいと思う。

- ・校内で会った時など元気に挨拶をしてくれます。登下校の様子を見ても笑顔で楽しそうにお友達と歩いている姿にこちらも笑顔になります。自転車の前に飛び出してきた児童に注意した時は素直に「ごめんなさい！」と言えていました。今後も見守り続けたいと思います。
- ・年間を通して充実したきめ細やかな教育活動を展開されており、その成果が子どもたちの成長に確実に実を結んでいる様子を学校運営協議会の参観等で確認させていただき、たいへん頼もしい思いがいたしました。創立 75 周年を迎えられる令和 8 年度も、伝統をしっかり受け継ぎながら新たな取り組みにも力を入れられることと思います。今後もますます保護者や地域との連携を強化しながら、社会全体で、美しくたくましくかしこい子を育てていきましょう！